

## 大蔵海岸みらいプロジェクトの取組状況について

### 1 プロジェクトの概要

明石海峡大橋を一望できる大蔵海岸は、海水浴や海の生き物と触れ合える場として多世代の人々が訪れます。きめ細かく真っ白なオーストラリア産の砂が広がる白砂ゾーンでは、ビーチサッカーの国際親善試合や、ビーチバレーなど全国規模の大会が開催され、日本有数のビーチスポーツの会場として全国に知られています。去年は、神戸マラソンが初めて大蔵海岸を折り返し地点として開催されました。

このような中、大蔵海岸のさらなる活性化やブランド化を目指し、プロジェクトチームを設置し、大蔵海岸の利用状況や施設の現状とニーズの整理、将来の活性化の可能性など、様々な角度から調査・検討を行っています。

今年度は、公共デザイン、観光地域づくり、マーケティング、ビーチスポーツ、施設運営の外部有識者からなる会議体「大蔵海岸アドバイザーボード」を設置し、ご意見を頂きながら検討を深めました。

### 2 アドバイザーボードで示された大蔵海岸の目指す姿

【コンセプト】

日常と非日常が重なる、明石の“海の顔”

～ 市民の暮らしに溶け込みながら来訪者を惹きつける、市民・関係者・来訪者の関わりが価値を育てる“開かれた海岸都市空間” ～

### 3 主な取り組みの方向性

今年度計3回の大蔵海岸アドバイザーボードを通して主な取り組みの方向性を決めました。

- (1) 海の明石を念頭に視座を高く持ち、明石駅周辺（明石公園、明石駅、中心商業地）、明石港東外港を連動させる明石のまちづくりという大きな視点の中で、大蔵海岸の価値向上を推進していく。
- (2) 大蔵海岸の価値向上について目指す姿の実現に向けて常に全体感を持ちながら、7つのテーマで取り組んでいく。
  - ①賑わいの創出
  - ②ビーチスポーツ施策の推進
  - ③ネイチャーポジティブの推進
  - ④健康増進の場としての機能強化
  - ⑤癒しの場づくり
  - ⑥明石中心部からの流動創出の仕掛けづくり
  - ⑦持続可能なマネジメント
- (3) 中長期的な観点として、大蔵海岸の価値向上持続可能とする枠組み、仕組みの構築を目指していく。

#### 4 今後の予定

短期的には、まずは次年度から、白砂ビーチの拡充やトイレの洋式化などの環境整備に取り組んでまいります。また、大蔵海岸の素晴らしいロケーションを生かし、「日本の夕陽朝日の百選」への登録を目指します。

中長期的には、引き続き有識者からのご意見やアドバイスを頂きながら、中心市街地、東外港、大蔵海岸へ至るウォーターフロント一帯の回遊性の向上による交流人口・関係人口の増加や、さらなるまちのにぎわいに寄与するべく、大蔵海岸の価値向上にかかる施策展開を目指します。

そのために、次年度は、賑わい、ビーチスポーツ、ネイチャーポジティブなど分野ごとのワーキンググループを立ち上げるとともに、横断的なプラットフォームを構築することで、議論を深めてまいります。また、タウンミーティングなどで市民の皆様からのご意見を頂くとともに、並行して現地においては実証実験なども実施しながら、大蔵海岸の魅力向上のための取り組みを進めてまいります。

#### 5 その他

大蔵海岸みらいプロジェクト・アドバイザリーボードのメンバーは、以下の通りです。

所属団体等	氏名	備考
同志社大学 名誉教授 総合地球環境学研究所 客員教授 公益財団京都市環境保全活動推進協会 理事長 (京エコロジーセンター館長)	新川 達郎	座長
株式会社 日本経済研究所 公共デザイン本部 副本部長 兼 インフラ部長	小原 爽子	
公益財団法人 日本バレーボール協会 ビーチバレーボールグループ シニアディレクター	川合 庶	
兵庫県立大学大学院 准教授	嶽山 洋志	
西武文理大学 教授 株式会社 JTB 総合研究所 客員研究員	波瀲 郁代	
株式会社 バーベキューアンドコー 代表取締役 株式会社 キャッスルホテル 専務取締役	成田 收彌	
株式会社 Intheory 代表取締役 合同会社 Tourism Exchange Japan 代表社員 一橋大学 MBA 非常勤講師	村木 智裕	
国土交通省 近畿地方整備局 姫路河川国道事務所 所長	富本 和也	オブザーバー

(氏名五十音順・敬称略)